

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-355696

(P2000-355696A)

(43) 公開日 平成12年12月26日 (2000. 12. 26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
C 1 1 B	9/00	C 1 1 B 9/00	A B C D J
審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁) 最終頁に続く			
(21) 出願番号	特願2000-110777(P2000-110777)		
(22) 出願日	平成12年4月12日 (2000. 4. 12)		
(31) 優先権主張番号	特願平11-103719		
(32) 優先日	平成11年4月12日 (1999. 4. 12)		
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		
(71) 出願人	000000918 花王株式会社 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号		
(72) 発明者	片山 敦 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会 社研究所内		
(72) 発明者	石田 浩彦 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会 社研究所内		
(74) 代理人	100068700 弁理士 有賀 三幸 (外4名)		

(54) 【発明の名称】 香料組成物

(57) 【要約】

【解決手段】 リモネン、メントン、シトラール、リナロール、1-メントール、シス-3-ヘキセノール、ジヒドロミルセノール、1, 8-シネオール、テルピネオール、オルトターシャリーブチルシクロヘキシルアセテート、リナリルアセテート、アリルカプロエート、アリルヘプタノエート、ベンジルアセテート、ヘキシルアセテート、エディオン、ヘキシルシンナミックアルデヒド、リラル、ヘリオナール、イオノンベータ、フェニルエチルアルコール、ガンマデカラクトン、シトロネロール、オイゲノール、シトロネリルアセテート、ダマセノン、ゲラニオール、ゲラニルアセテート、ゲラニルニトリル、メチルサリシレート、ペパーミントオイル、ベルガモットオイル、レモンオイル、シス-3-ヘキセニルアセテート、 α -ピネン、パールライド及びトリプラー等から選ばれる香料を含有する短期間使用香料組成物。

【効果】 狭い空間で使用しても香りが強すぎず、しかも香りの残留性が少なく、短期間にわたる空間の芳香、マスキングに好適である。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 リモネン、メントン、シトラール、リナロール、1-メントール、シス-3-ヘキセノール、ジヒドロミルセノール、1, 8-シネオール、テルピネオール、オルトターシャリーブチルシクロヘキシルアセテート、リナリルアセテート、アリルカプロエート、アリルヘプタノエート、ベンジルアセテート、ヘキシルアセテート、セドロール、シス-3-ヘキセニルサリシレート、シベトン、コパイババルサム、エチレンブラッシレート、エディオン、ヘキシルシンナミックアルデヒド、ヘキシルサリシレート、リラル、11-オキサ-16-ヘキサデカノライド、ヘリオナル、ヘリオトロビン、リリアル、センテナル、トリメチルウンデセナル、ブルゲオナル、シクラメンアルデヒド、イオノンベータ、フェニルエチルアルコール、カリオフィレン、インドール、ガンマデカラクトン、シトロネロール、オイゲノール、ノピルアセテート、チモール、シトロネリルアセテート、ジメチルベンジルカルビニルアセテート、ジメチルアンスラニレート、ヘイアブソリュート、ダマセノン、エチルリナロール、ゲラニオール、ネリルアセテート、ゲラニルアセテート、ゲラニルニトリル、メチルオクチンカーボネート、アネトール、シトロネリルホルメート、アリルアミルグリコレート、メチルサリシレート、バジルオイル、1-カルボン、ペパーミントオイル、セージクラリルオイル、スチラルルアセテート、ラバンディングロソ、ボルネオール、ベルガモットオイル、レモンオイル、ローズマリーオイル、プレニルアセテート、シス-3-ヘキセニルアセテート、 α -ピネン、アセトアルデヒドジエチルアセタール、アルグアブソリュート、アンブリノール、アンプロキサン、バジレックス、カロン、カンファー、システアブソリュート、クローブパッドオイル、コープスパンブルーモス、フルーテート、イソボルニルアセテート、ジャスモピランホルテ、ラプタナムアブソリュート、マイヨール、オポボナックスレジノイド、パールライド、フェノキサノール、テトラハイドロムゴール、トリシクロデセニルアセテート及びトリブラルから選ばれる香料を含有する短期間使用香料組成物。

【請求項 2】 前記香料を合計で 50~100 重量% 含有する請求項 1 記載の短期間使用香料組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、一般的な生活居住空間で使用しても香りが強すぎず、しかも香りの残留性が少ない短期間使用香料組成物に関する。

【0002】

【従来の技術】 一般的な生活居住空間（例えば、下駄箱、トイレ、自動車、ロッカー、押し入れ、居間等）で使用する芳香剤には、蒸気圧が高い成分から低い成分まで多種多様な香料が使用されている。しかし、このよう

な芳香剤は、香りの持続目標期間を約 1 ヶ月に設定しているため、狭い空間では香りが強すぎたり、刺激がある場合がある。また、空気の流れが極めて少ない空間であるため、単独では香りのバランス的に好ましくない蒸気圧が低い香料成分が、靴、壁、シート、内装等に染み付き、蓄積したり、香りの質が変化する問題となる他、後に使う芳香剤の香りの質に悪影響を及ぼしてしまう。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の目的は、短い期間に使用する芳香、マスキング用の香料組成物であって狭い空間で使用しても香りが強すぎず、しかも香りの残留性が少なく内部に染み付かない短期間使用香料組成物を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明者らは、数多くの香料成分について、狭い空間で使用したときの香りの強さや残留性について検討した結果、特定の香料が、他の香料にはない前記課題を解決した優れた特性を有し、嗅覚時に認知でき、最適レベルの香り（香気）を短期間（好ましくは 1 週間~10 日間）にわたり持続でき、香りの質が変化せず狭い空間での使用に好適であることを見出した。

【0005】 本発明は、リモネン、メントン、シトラール、リナロール、1-メントール、シス-3-ヘキセノール、ジヒドロミルセノール、1, 8-シネオール、テルピネオール、オルトターシャリーブチルシクロヘキシルアセテート、リナリルアセテート、アリルカプロエート、アリルヘプタノエート、ベンジルアセテート、ヘキシルアセテート、セドロール、シス-3-ヘキセニルサリシレート、シベトン、コパイババルサム、エチレンブラッシレート、エディオン、ヘキシルシンナミックアルデヒド、ヘキシルサリシレート、リラル、11-オキサ-16-ヘキサデカノライド、ヘリオナル、ヘリオトロビン、リリアル、センテナル、トリメチルウンデセナル、ブルゲオナル、シクラメンアルデヒド、イオノンベータ、フェニルエチルアルコール、カリオフィレン、インドール、ガンマデカラクトン、シトロネロール、オイゲノール、ノピルアセテート、チモール、シトロネリルアセテート、ジメチルベンジルカルビニルアセテート、ジメチルアンスラニレート、ヘイアブソリュート、ダマセノン、エチルリナロール、ゲラニオール、ネリルアセテート、ゲラニルアセテート、ゲラニルニトリル、メチルオクチンカーボネート、アネトール、シトロネリルホルメート、アリルアミルグリコレート、メチルサリシレート、バジルオイル、1-カルボン、ペパーミントオイル、セージクラリルオイル、スチラルルアセテート、ラバンディングロソ、ボルネオール、ベルガモットオイル、レモンオイル、ローズマリーオイル、プレニルアセテート、シス-3-ヘキセニルアセテート、 α -ピネン、アセトアルデヒドジエチルアセタール、アル

グアブソリュート、アンブリノール、アンブロキサン、バジレックス、カローン、カンファー、システアブソリュート、クローブパッドオイル、コープスパンブル 10% L I M、フルーテート、イソボルニルアセテート、ジャスモビランホルテ、ラプタナムアブソリュート、マイヨール、オボポナックスレジノイド、パールライド、フェノキサノール、テトラハイドロムゴール、トリシクロデセニルアセテート及びトリプラーから選ばれる香料を含有する短期間使用香料組成物を提供するものである。

【0006】

【発明の実施の形態】本発明で用いる香料は、特にリモネン、メントン、シトラール、リナロール、1-メントール、シス-3-ヘキセノール、ジヒドロミルセノール、1, 8-シネオール、テルピネオール、オルトターシャリーブチルシクロヘキシルアセテート、リナリルアセテート、アリルカプロエート、アリルヘプタノエート、ベンジルアセテート、ヘキシルアセテート、エディオン・ヘキシルシンナミックアルデヒド、リラル、ヘリオナル、イオノンベータ、フェニルエチルアルコール、ガンマデカラクトン、シトロネロール、オイゲノール、シトロネリルアセテート、ダマセノン、ゲラニオール、ゲラニルアセテート、ゲラニルニトリル、メチルサリシレート、ペパーミントオイル、ベルガモットオイル、レモンオイル、シス-3-ヘキセニルアセテート、 α -ピネン、パールライド及びトリプラーが好ましい。これらの香料は、1種以上を用いることができ、香料組成物中に合計で50~100重量%、特に60~100重量%、更に70~100重量%配合するのが好ましい。この範囲内であれば、香りが強すぎたり、蓄積することがなく、香りの質の変化も生じない。

【0007】本発明の香料組成物は、約1ヶ月、好ましくは1週間~10日間の使用に適する。

【0008】本発明の香料組成物は、前記香料及び他の香料成分、すなわち香氣成分のみからなるが、当該香料組成物は、保留剤を混合して芳香剤として用いることができ、香りの持続期間をより調整することができる。保留剤としては、通常芳香剤に用いられるものであれば特に制限されず、例えば植物ワックス、動物ワックス、石油ワックス、高級脂肪酸、シュガーエステル等が挙げられる。これらの保留剤は、1種以上を用いることができ、香料組成物に対して20~1000重量%、特に50~500重量%用いるのが好ましい。

【0009】また、本発明の香料組成物は、芳香剤とする際に、強度の調整を行ったり、担持体中含浸させて用いる場合の浸透性を向上させるため、溶剤成分を適宜混合して用いることができる。溶剤成分としては、エタノール、多価アルコール系溶剤、パラフィン系溶剤、グリコールエーテル系溶剤、フタル酸エステル系溶剤等が挙げられる。さらに、水を媒体として担持体に浸透させる

場合には、界面活性剤を配合することもできる。

【0010】本発明の香料組成物は、例えば0.1~30m³の空間、例えば下駄箱、トイレ、自動車、ロッカー、押し入れ、住居部屋等、好ましくは自動車、トイレ、室内用の芳香剤として使用するのに好適であり、従来の芳香剤と同様にして使用することができる。例えば、香料組成物又はこれを水や溶剤で希釈した溶液を、そのまま、又はゲル化剤でゲルとして、又は担持体中含浸させて容器に収容する。ここで、担持体としては、例えばゼオライト、シリカゲル、素焼き等の無機多孔体又は粒体、セルロース、セルロース誘導体、ろ紙等の紙、木材、アクリル酸ポリマー、多糖類ゲル等の有機多孔体、吸油高分子、吸水性高分子等が挙げられる。容器としては、例えばガラス瓶、缶容器、プラスチック容器、紙容器、シート、ステッカー等が挙げられ、容器中に封入する香料組成物の重量は、0.01~10g、特に0.1~1gが好ましい。

【0011】図1に示す本発明の香料組成物の好ましい使用形態の1つである芳香具10は、縦5cm、横6cm程度の大きさの、密封体としての矩形状のビロー袋11の内部に、香料組成物が含浸された担持体としてのろ紙12を収容して構成され、5g程度の総重量を有している。

【0012】ビロー袋11は、可撓性シート部材としてのアルミラミネートフィルムからなる一対の矩形フィルム13の周縁部分14を密着接合してなり、これによって内部に密封された収容空間が形成される。

【0013】ビロー袋11の前面側の矩形フィルム13には、その表面中央部分に、未接合部分の上端縁部から下端縁部に向かって平行に延長する一対の引き剥がし案内溝15が設けられている。この引き剥がし案内溝15に挟まれる矩形フィルム13の上端縁部には、半円状の摘み片16が連結接合されていて、この摘み片16を摘んで下方に引き下げることにより、矩形フィルム13が案内溝15に沿って引き剥がされて、ビロー袋11が開封されることになる。

【0014】ビロー袋11の後面側の矩形フィルム13には、アクリル系、合成ゴム系、熱硬化性ゴム系等の接着剤が塗着されていて（図示せず）、この接着剤を介して芳香具10を使用箇所容易に貼着設置することができる。なお、接着剤による粘着力は、芳香具10の重量や設置面の材質等を鑑みて適宜設定されるが、例えば50~1500gf/20mm幅とすることができる。設置面に取り付けた際に、落下することなく設置箇所容易に保持され、接着面の剥がれが生じず、また接着剤の跡残りが生じないように調整する。

【0015】ビロー袋11の内部には、香料組成物が含浸されたろ紙12が収容される。1週間程度の短期間の使用なので、使用前のろ紙12の重量を1~10g程度の軽量とできる。

【0016】この芳香具10は、使い捨て用の軽量の芳香具として、例えば自動車内やその他の狭い空間を短期間芳ばしい香りの雰囲気にするために使用する。すなわち、摘み片16を摘んで矩形フィルム13を引き剥がして密封体を開封し、1～10cm²程度の香料組成物揮散開口17を形成した状態で、接着剤を覆う剥離紙を取り除き、この接着剤を介して、車内の座席シート（繊維面）やインスツルメンタルパネル部分（ポリ塩化ビニル面）等に貼着設置して使用する。短期間の使用なので、芳香具10は1～10g程度の軽量とでき、接着剤の強度が弱くとも良く、貼着箇所をいためない。

【0017】ろ紙12に含浸された香料組成物は、その優れた揮散性によって、適度な香りを伴いながら、香料組成物揮散開口17を介して速やかに拡散し、雰囲気を迅速に改良する。そして、香料組成物が拡散して一定の香りを維持できなくなったら、ピロー袋11を設置面より剥がして廃棄する。

【0018】

【発明の効果】本発明の香料組成物は、1週間位の短期間にわたって狭い空間で使用しても香りが強すぎず、しかも香料成分が内壁やシート、収納物に染み付いたり、蓄積することもない。従って、後に異なる香質の芳香剤を使う場合、より香りの効果（例えばリフレッシュ等）を十分に1週間程度の短期間発揮できる。特に、下駄 *

* 箱、トイレ、自動車等の芳香剤での使用に好適である。

【0019】

【実施例】実施例1

表1に示す組成の香料組成物について、香りの強さ及び香りの染み付きを評価した。結果を表1に併せて示す。

【0020】（評価方法）香料組成物（香気成分100%）を1g含浸させたパルプろ紙（厚さ2mm、面積9cm²）をアルミピロフィルムで包装し、上面に2cm²の開口部を設けた芳香具を作成した。これを自動車内（車内空間3m³）に24時間放置した後、扉を開けて香りの強さを評価した。さらに芳香具を車内から取り出し、窓を開放して10分間車内空間の換気を行った後、窓及び扉を閉じて1時間後に車内への香りの染み付きの有無（強さ）を評価した。評価基準は、悪臭防止法で用いられている6段階臭気強度表示法に基づき、いずれも以下のとおりであり、2名の平均を求めた。

5；非常に強い。

4；強い。

3；楽に匂う。

2；弱い。

1；わずかに匂う。

0；匂わない。

【0021】

【表1】

	香 気 成 分	香りの強さ	染み付き
本発明品1	ベンジルアセテート	2.5	0
本発明品2	メントン	2	0
本発明品3	リモネン	2	0
本発明品4	シトラール	3	0
本発明品5	リナロール	3	0.1
本発明品6	リナリルアセテート	1	0
本発明品7	オルトターシャリーブチルシクロヘキシルアセテート	1	0
本発明品8	1-メントール	1	0
本発明品9	シス-3-ヘキセノール	3	1.5
本発明品10	ジヒドロミルセノール	3	1.5
本発明品11	1, 8-シネオール	2	0
本発明品12	テルピネオール	1	0
本発明品13	アリルカプロエート	2	0
本発明品14	ヘキシルアセテート	2	0
本発明品15	アリルヘプタノエート	3	1.5
本発明品16	香料組成物：シス-3-ヘキセノール 20% ベンジルアセテート 20 リナロール 20 テルピネオール 20 ヘキシルアセテート 20	2.5	0
比較品1	デシルアルデヒド	5	4
比較品2	フェニル酢酸	4	3

【0022】表1の結果から明らかなように、本発明品はいずれも、香りの強さが適度で、香りが染み付くこともなかった。

【図面の簡単な説明】

【図1】好ましい使用形態の1つである芳香具を説明す 50

る斜視図である。

【符号の説明】

10：芳香具

11：ピロー袋（密封体）

12：ろ紙（担体）

(5)

特開 2000-355696

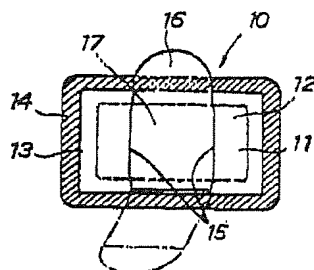
7

8

13 : 矩形フィルム (可撓性シート部材)

* * 17 : 香料組成物揮散開口

【図 1】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

識別記号

F I

ターマコード (参考)

C 1 1 B 9/00

C 1 1 B 9/00

K

L

M

Q

S

T

W

X

Q

A 6 1 L 9/01

A 6 1 L 9/01

9/04

9/04